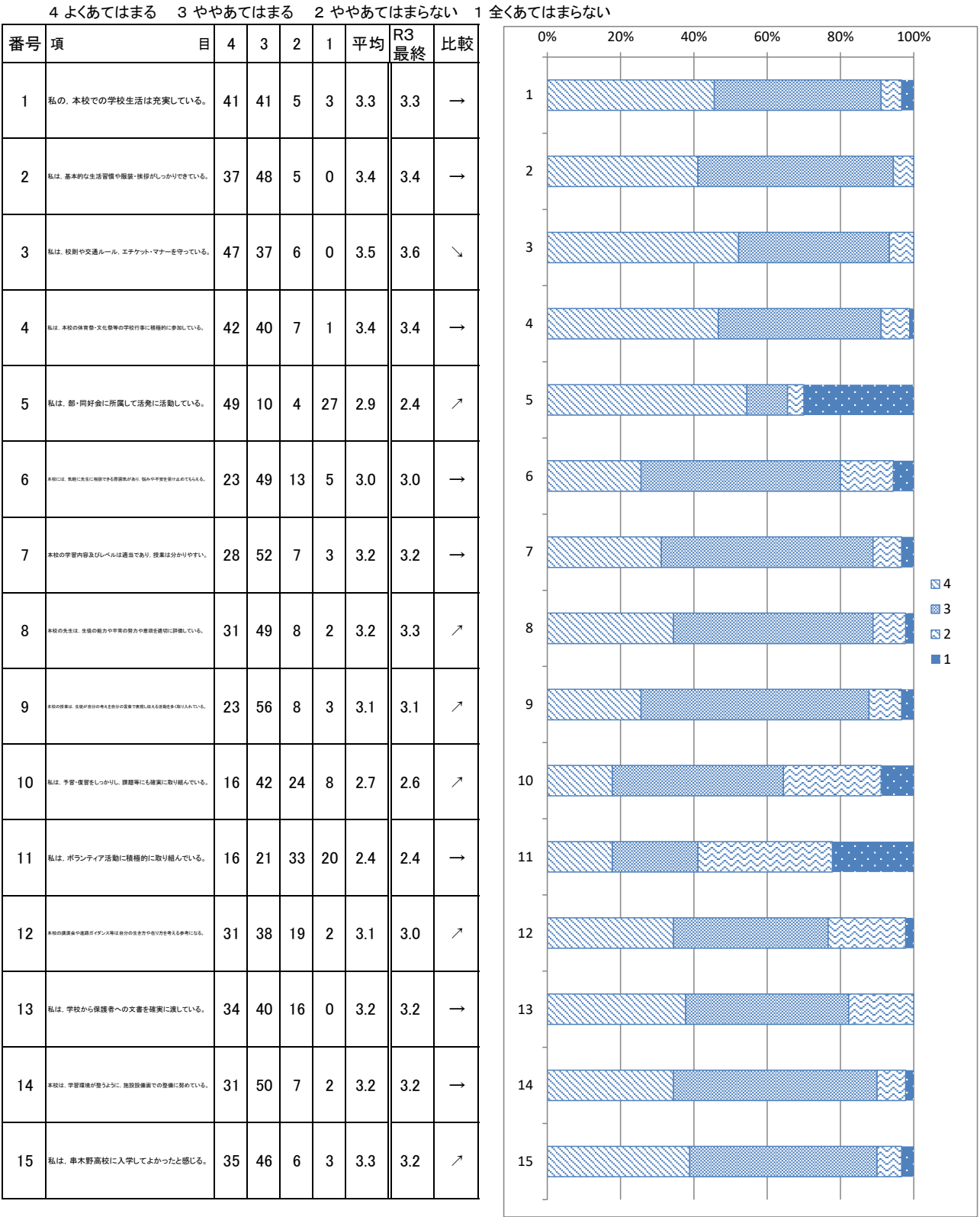


令和4年度 学校評価(生徒 中間)



R4 学校評価(中間)生徒アンケートの分析

・昨年度、全体的に一昨年度を大きく上回ったため、本年度は評価が下降するのではないかと予想されたが、平均が上昇した項目が4項目、下降した項目が2項目と昨年度よりさらに高い評価が得られた。学校全体の雰囲気も落ち着き、目標を持って学校生活を過ごしている生徒が増えてきたように感じる。

○よかった点(平均3.3以上、昨年度より0.2ポイント以上高い)

・1番、4番。「本校での学校生活は充実している。」は1年生だけが3.1と他学年より0.3ポイント低い。学校行事や学習面で充実感が味わえるような工夫や指導も必要である。

・2番、3番は平均3.4以上と高い評価である。基本的な生活習慣やルール、マナーは身につけている生徒が多い。

・5番「部・同好会に所属して活発に活動している。」は平均2.9と決して高いわけではないが、昨年度より0.5ポイントも上昇している。新設された同好会の効果も大きいのではないかと。さらに入部・入会を勧めていく必要がある。

・8番「本校の先生は、生徒の能力や平常の努力や意欲を適切に評価している。」の平均値は、昨年度最終評価より0.1ポイント下がって3.2になったが、職員による「授業改善」への取組は継続しているように感じる。

・15番「本校は、学習環境が整うように、施設設備面での整備に努めている。」の平均値は昨年度最終評価よりさらに0.1ポイント上がり3.3となった。タブレットの活用やネット環境の整備、体育館の改修がその要因であろう。

○改善を要する点 (2.9以下)

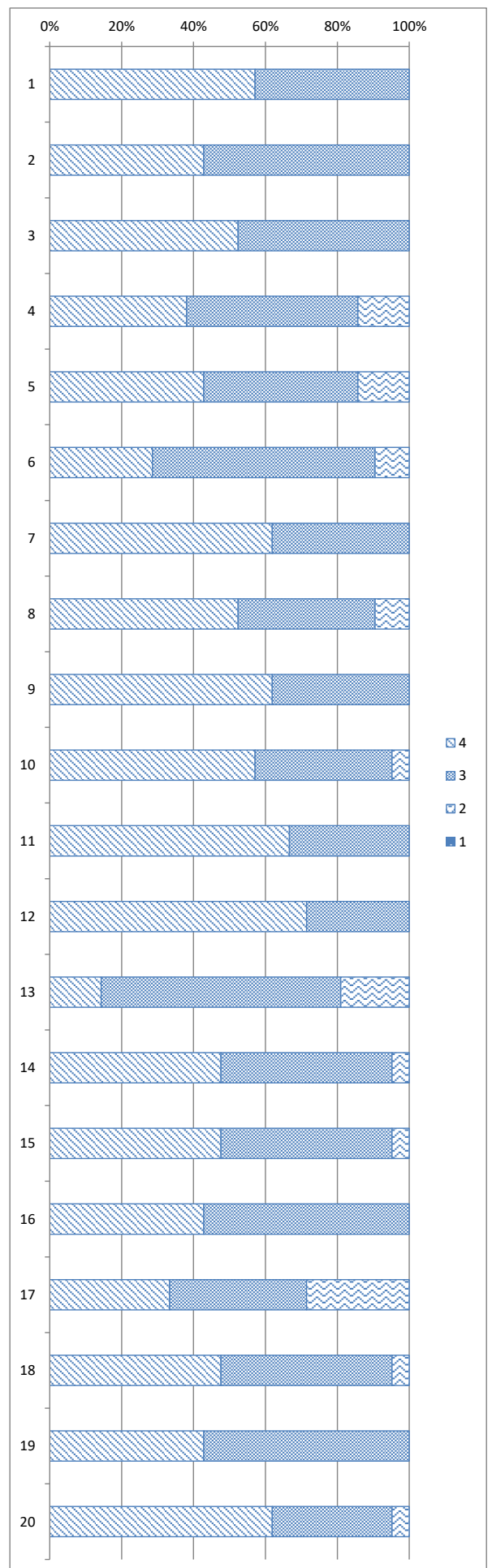
・10番「私は、予習・復習をしっかりとし、課題等にも確実に取り組んでいる。」の平均値は2.7と全体的に見ると低いが、昨年度最終評価よりさらに0.1ポイント上がった。学習意欲を持つ生徒が少し増加しているのではないかと。

・11番「私は、ボランティア活動に積極的に取り組んでいる。」の平均は昨年と変わらず2.4と全項目の中で最も低かった。コロナの影響で、ボランティア活動が実施されなかったためと考えられる。

令和4年度 学校評価(職員 中間)

4 よくあてはまる 3 ややあてはまる 2 ややあてはまらない 1 全くあてはまらない

番号	項 目	4	3	2	1	平均	R3最終	比較
1	本校は、「良識ある社会人、社会貢献できる人材」の育成を目指し、教育活動を行っている。	12	9	0	0	3.6	3.6	→
2	教育目標の具現化に向けた教育課程の編成や組織機構となっている。	9	12	0	0	3.4	3.3	↗
3	人権同和教育の視点に立った各種教育活動が実践されている。	11	10	0	0	3.5	3.5	→
4	教師の専門性や力量を高めるための研究授業が行われている。	8	10	3	0	3.2	3.3	↘
5	各教科内で適切に年間計画・目標を設定し、連携して基礎基本の確実な定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力の育成に効果的な授業を工夫している。	9	9	3	0	3.3	3.5	↘
6	学習評価を指導改善に活かす取組がなされている。	6	13	2	0	3.2	3.3	↘
7	積極的に生徒参加型授業を取り入れ、生徒が自分の考えを自分の言葉で表現し、伝える活動を工夫している。	13	8	0	0	3.6	3.6	→
8	ホームルーム活動は計画的に実施されている。	11	8	2	0	3.4	3.3	↗
9	保護者からの相談等への対応や情報提供が適切に行われている。	13	8	0	0	3.6	3.6	→
10	基本的な生活態度、挨拶、服装、マナー、携帯電話の使用などの生徒指導について、全職員で取り組んでいる。	12	8	1	0	3.5	3.5	→
11	いじめのない雰囲気や生徒が先生に気軽に相談できる環境づくりを心がけている。	14	7	0	0	3.7	3.6	↗
12	生徒の抱える様々な問題に迅速に対応し、各学年部は共通認識をもって、個々の学級の問題に学年・全職員で取り組んでいる。	15	6	0	0	3.7	3.8	↘
13	自宅学習状況を把握し、自宅学習の習慣をつけるための指導が工夫されている。	3	14	4	0	3.0	3.2	↘
14	生徒の学力向上や進路についての検討は適切になされている。	10	10	1	0	3.4	3.4	→
15	キャリア教育の視点に立った進路学習を計画的に進め、「探究」等を活用し主体的に進路選択できる力を養うとともに、学習意欲の向上を図っている。	10	10	1	0	3.4	3.4	→
16	講演会や進路ガイダンス等は生徒の生き方や在り方を考える目的を果たしている。	9	12	0	0	3.4	3.5	↘
17	部活動が活発に行われ、生徒が日常の活動に満足できるように取り組んでいる。	7	8	6	0	3.0	2.7	↗
18	生徒の健康・体力づくりへ配慮した取組が行われている。	10	10	1	0	3.4	3.5	↘
19	執務環境の整理整頓及び文書管理がしっかりできている。	9	12	0	0	3.4	3.5	↘
20	生徒が安心・安全に学校生活を送れる環境の整備に取り組んでいる。	13	7	1	0	3.6	3.6	→



令和4年度 学校評価(中間)職員アンケートの分析

・昨年度の評価が、生徒アンケートと同様に一昨年より大きく上昇したため、1つ1つの項目の平均を比較すると、僅かだが平均が下降した項目が多い。しかし、3.0以下の項目は1つだけであり、結果としては良好だと言える。

・1番「良識ある社会人、社会貢献できる人材の育成を目指し、教育活動を行っている。」は平均3.6で1,2の解答者はいなかった。(昨年度も3.6)

・7番「積極的に生徒参加型授業を取り入れ、生徒が自身の考えを表現し、伝える活動を工夫している。」も平均3.6であり、ICT機器もよく活用され始めている。

・9番「保護者の相談対応や情報提供が適切に行われている。」も平均値が高い。安心安全メールの活用やホームページの充実も1つの要因だと考えられる。

・11番「いじめのない雰囲気や生徒が先生に気軽に相談できる環境づくりを心がけている。」の平均値が3.7と昨年度より0.1ポイント上昇した。

・12番「生徒の抱える様々な問題に迅速に対応し、各学年部は共通認識をもって、個々の学級の問題に学年・全職員で取り組んでいる。」の平均値が昨年度より0.2ポイント上昇し、3.71と最も高かった。本校ならではの、学年による職朝後の話し合いの時間が取れていることも1つの要因といえる。

・20番「生徒が安心・安全に学校生活を送れる環境整備に取り組んでいる。」の高評価は、環境美化係や事務職員が、積極的に環境美化に継続的に取り組んでいる結果である。

○改善を要する点(平均3.0以下)

・13番「自宅学習状況を把握し、自宅学習の習慣をつけるための指導が工夫されている。」の平均は2.95と唯一3.0を下回った。難しい問題だが、諦めず継続して取り組んでいく必要がある。

・17番「部活動が活発に行われ、生徒は日常の活動に満足してる。」の平均は3.04と低い方ではあるが、昨年度より0.3ポイント上昇している。入部している生徒や顧問は熱心に活動しており、新設された同好会も活動が始まっており今後に期待ができる。

